

55000



数字で読み解く団体の取り組み

「Gain」— 望むものを手に入れる。努力の成果として得るもの。進歩。達成。

## 狂犬病 どう防ぐ

予防はできるが感染したら確実に死に至る病「狂犬病」。日本では馴染みの薄い病だが、世界では年間おおよそ5万5千人が命を落としている恐ろしい感染症だ。海外からの狂犬病侵入と国内での発生をいかにして防ぐか。動物医療の専門家として県内で予防対策に取り組んでいる岩手県獣医師会の多田洋悦会長に聞いた。

## DATA

- 一般社団法人 岩手県獣医師会
- 代表者/会長 多田洋悦
- 創立/1927年発足、1971年7月法人化
- 会員/岩手県内に居住または勤務する獣医師620余名
- 事務所/T020-0021 盛岡市中央通3-7-24 岩手県獣医師会館  
TEL:019-651-0310  
FAX:019-653-0350
- ホームページアドレス <http://ivma.jp/>

狂犬病は、インドや中国、南米やアフリカなど世界各国で発生し、猛威を振るっています。

ヒトは、狂犬病にかかった動物（アジアでは主に犬）に咬まれて、唾液に含まれるウイルスが傷口から体内に侵入することで感染します。狂犬病に感染した犬は、極度に興奮し攻撃的になったり、筋肉の麻痺により食物や水を飲み込まず、よだれが止まらないなどの症状が発症します。

## 致死率ほぼ100%

狂犬病はすべての哺乳類に感染することが確認されており、頬や耳など、咬まれた所が脳に近いほど発症が早くなります。潜伏期間は1週間から数カ月で、人間の場合は最初の症状としては主に発熱があり、その後、手足のしびれを感じたり、水を見ると痙攣（けいれん）を起こす恐水症などを発症します。

現在、世界では狂犬病に対する有効な治療法が確立されておらず、発症した場合ほぼ100%の確率で死亡します。その被害を最も受けているのは15歳以下の子どもであり、50%も占めています。発症後の有効な治療法はありません。

日本は、英国や豪州、ニュージーランドなどと共に、国際獣疫事務局（OIE）と厚生労働省が認める12の狂犬病清浄国の一つで、犬に咬まれたことによる国内におけるヒトの直接的な発生例は1956年以来ありません。しかし、海外で感染したイヌに咬まれた日本人男性2人が帰国後に発症し、死亡した例は2006年に京都と横浜で起きています。

## 登録と予防注射を

それではどのようにして感染やまん延を防ぐのか。それには飼い主による犬の登録と予防ワクチン接種が何より

大切です。

世界保健機関（WHO）によると、1つの国で狂犬病のまん延を防ぐには、その国にいる犬の7割が予防ワクチン接種を受けていることが必要ですが、日本では平成23年度における登録頭数685万頭に対し、注射頭数は498万頭であり、実際に飼われている犬の数は未登録犬を含めると1千2百万頭いるともいわれ、注射率は5割にも届かないのが実状です。

犬を市町村に登録していれば、毎年春先に接種を周知する「はがき」が各家庭に届きますが、初めて犬を飼う場合は届かず飼い主が知らないケースがあります。

狂犬病予防ワクチンは生後91日を過ぎたら必ず接種することが国の法律によって決められています。犬を飼い始めたら必ず自治体に登録し、ワクチン接種を受ける社会的責務があることをぜひ飼い主の皆さんに認識してほしいです。

## 病院でアンケート

岩手県獣医師会では今年度、犬の登録とワクチン接種についてのアンケートを動物病院を窓口を実施予定です。動物病院は犬と飼い主さんが直接訪れる施設であり、登録と注射の実態を把握するには最適な場所と言えます。

岩手県における注射頭数は5年前は7万3千頭だったのですが、現在では6万5千頭と年々減少傾向にあります。アンケートを通して、改めて犬の登録と予防注射の必要性を訴えたいと考えています。

県獣医師会では、県内市町村と協力して狂犬病予防指定獣医師を中心に、盛岡や花巻、大船渡など各地域に予防注射実施班を設置し、集合注射を実施しています。また、ご自宅の近くにある動物病院でも随時狂犬病予防注射を受け付けていますので併せてぜひご利用ください。

動物を守ることも、人の命を守ることにつながります。これからも積極的に狂犬病予防対策を推進してまいります。



県内各地で行われている狂犬病の予防集合注射

55000人

なるなど、一部の国々を除き世界各国に分布している。

地球上で狂犬病が原因で亡くなる1年間の平均死者数（世界保健機関調べ）。計算上、10分に1人が命を落としている。2008年にはインドで2万人、中国で2400人超が亡く

## 《スローガン》

動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。  
いのちみつめる。いのち育む。



会長 多田 洋悦